

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1086.50	2024/5/20
High	1095.65	2024/5/20
Low	1015.85	2024/5/24
Close	1025.55	2024/5/24

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	5431.00	2024/5/20
High	5483.00	2024/5/20
Low	5129.00	2024/5/24
Close	5191.00	2024/5/24

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1009.25	2024/5/20
High	1042.50	2024/5/22
Low	959.31	2024/5/24
Close	963.50	2024/5/24

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5045.00	2024/5/20
High	5231.00	2024/5/22
Low	4842.00	2024/5/24
Close	4863.00	2024/5/24



ニュースエクスプレス

イムプラッツ、Bafokeng 買収に絡む BEE 取引を完了

IMPALA Platinum (イムプラッツ) は、5月20日、昨年のRoyal Bafokeng Resources (RBPlat) の買収の一環として行う black economic empowerment (黒人の経済力強化政策) 取引を完了したと発表した。同取引の規模は90億ランド(約770億円)。

すでに発表されているイムプラッツによる買収案に従い、同取引の受益者はイムプラッツと、今回の買収のためにイムプラッツが設立した Impala Bafokeng Resources (IBR)の両方の13%を所有することになる。

「今回の取引は、我々のビジネス、PGM セクター、南アフリカに対する期待に裏打ちされている。」と語るのはイムプラッツの CEO である Nico Muller 氏。

イムプラッツは、18ヶ月に及んだノーザムプラチナとの抗争を経て、昨年RBPlat の買収案を取りまとめた。イムプラッツのルステンバーグ鉱山の鉱山寿命を伸ばし、供給の成長を意図した買収案だったが、PGM 市場の下落で資産価値は下がっている。

先月Muller 氏は今回の買収について、「今から30年経って振り返った時に、長期的展望を持つ投資家は必ずや、我が社にとって絶対的な意義のある今回の買収の価値を認めるだろう。」と語っている。

<https://www.miningmx.com/trending/56921-implats-concludes-bee-transaction-in-bafokeng-assets/>

ロンドン・プラチナウィーク、リサイクルが大きなテーマ

リサイクルから供給されるプラチナの多くは、廃車両から回収される自動車触媒。しかし消費者はコロナ前の平均よりも長い期間自家用車に乗るようになるなど、過去数年間で普通乗用車市場は変化している。そのため、2023年にリサイクルされたプラチナの量は減少した。しかし、プラチナウィークの参加者の多くは、リサイクル供給は長期的には回復するという見方だった。特にプラチナを多く使っている「Euro 5」と「Euro 6」排ガス規制に対応した車両が廃車に回る時期が近いことがその理由だが、当然供給増にとっては、その回収のタイミングが鍵となる。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240521.pdf#mssdynttrid=ebhTSFdcbnrf22UQEbUWR1cxNujXWXZerzAVz-wea2s

2024年の世界のプラチナ生産国トップ10

順位	国名	プラチナ生産(トン)
1.	南アフリカ	132,989
2.	ロシア	24,000
3.	ジンバブエ	13,857
4.	カナダ	8,500
5.	アメリカ合衆国	4,150
6.	中国	2,500
7.	フィンランド	953
8.	コロンビア	178
9.	オーストラリア	110
10.	ポーランド	2

<https://currentaffairs.adda247.com/top-10-platinum-producing-countries-in-the-world/>

PGI、ラスベガスで新たなプラチナ合金を披露

プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) USA は、新たなプラチナ合金となる「Inoveo Platinum」を、今年終わりに開催される JCK ラスベガス宝飾品見本市で披露する。プラチナの利点とホワイトゴールドの扱いやすさを合わせたプラチナ合金だという。

アングロアメリカンが合金設計開発の英 Alloyed と共同で開発し、宝飾デザイナーや製造会社が問題としていたプラチナの扱いにくさを解消した新たなプラチナ合金となる。

PGI USA によると、この新たな合金はホワイトゴールド同様に扱いやすく、同時にプラチナの自然な白色、耐久性に優れているという。

<https://www.cnbc.com/2024/05/16/gold-silver-and-platinum-prices-could-push-even-higher-strategists.html>

Translated by Kazuko OSAWA



WPIC直近の活動

ロンドン・プラチナウィークの話題の中心はリサイクル供給のリスクと、エンジン車(主にハイブリッド車)のプラチナ需要だった。逆境にあるリサイクル供給、堅調な自動車の PGM 需要は供給不足を拡大させる可能性を示唆する。供給不足が認識されるにつれて、2024 年弱含みで始まったプラチナ価格は回復傾向にある。詳細は **プラチナ展望-2024年5月号** をご覧ください。

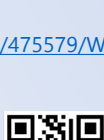
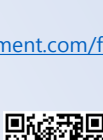
<https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>

水素経済の中でプラチナ需要に貢献する最大の分野は燃料電池自動 (FCEV)、特に大型輸送車(HD)のFCEVだ。我々は2030年までに水素利用によるプラチナ需要は、プラチナの年間需要の11%を占めると予測しているが、その60%以上は燃料電池のプラチナ需要だ。HD-FCEV が普及すれば水素利用によるプラチナ需要が増え、減りゆく自動車触媒のプラチナ需要をほとんど補えられ、2年から5年先の展望として我々が示したように、自動車のプラチナ需要は将来的に大きく減少しない見通しとなる。詳細は **プラチナ投資のエッセンス-2024年4月号その2** をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>

WPICは2024年第1四半期のプラチナ需給をレビューし、2024年全体の予測を更新した。プラチナ市場は11.5トンと2年目の大幅な供給不足に突入し、2024年の展望として供給は低迷、需要は堅調、供給不足は14.8トンと更新された。詳細は **プラチナ四半期レポート-2024年Q1** をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/475579/WPIC Platinum Quarterly Q1 2024 JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/475579/WPIC%20Platinum%20Quarterly%20Q1%202024%20JA.pdf)



@wpicjapan